



人とペットの災害対策

災害は予期せぬ時に突然起こります。いざというときにペットを守れるのは、飼い主だけです。まずは飼い主が無事であること、そして避難する場合にはペットと一緒に避難場所に避難すること（同行避難）が基本です。

環境省は、飼い主・災害対応従事者の安全の確保と同行避難を前提として「人とペットの災害対策ガイドライン」を作成しています。動物が苦手な人や周りの人へ配慮し、安全に安心して過ごすために平時から備えておくべきことや、災害時取るべき行動、避難所での生活について心構えと備えが大切です。

日頃からの備え

①ペットのための備蓄品はありますか？

避難所で使用するケージ・ペットフード・食器・首輪・ペットシート・ブラシ・猫砂・消臭剤などは、飼い主が用意する必要があります。移動用キャリーも用意しておきましょう。



③健康管理はできていますか？

避難所での感染症を防ぐために、ワクチンの接種やノミ、ダニ予防など健康管理をしましょう。持病がある場合は治療歴や必要な投薬についてまとめておきましょう。



④所有者明示はできていますか？

迷子になっても飼い主の元に戻るために、マイクロチップや迷子札を装着しておきましょう。



②しつけはできていますか？

避難所ではケージで過ごすことが想定されるため、ケージに入る訓練をしておきましょう。トイレのしつけや無駄吠え防止など基本的なしつけをしておきましょう。

⑤預け先の確保はできていますか？

飼い主に代わってペットを預かってくれる遠方の親戚や友人、ペットホテルなどを確保しておきましょう。

災害時に必要なこと

①人とペットの安全確保

まず飼い主自身が安全確保し、ペットの安全を確保しましょう。ペットは異常な事態に興味がパニック行動を起こすことがあります。逃走やケガに注意しケージに入れるなどしましょう。また災害の正確な情報収集に努めましょう。

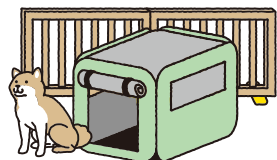
②避難の判断・ペットと同行避難

自宅や周辺地域の状況を確認し、自宅が危険な場合や避難指示等が出ている場合には、ペットを連れて避難所等の安全な場所へ同行避難しましょう。遠方の親戚やペットホテルなどへ避難する選択肢もあります。



③ペットの飼育スペース設置の協力

ペットの飼い主は、避難所運営者やその他のペットの飼い主と協力してペットの飼育スペースの設営をしましょう。必要に応じてブルーシート、ペットシートなどを活用し施設が汚れないように対策をしましょう。

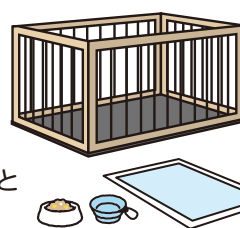


④避難所等でのペットの飼育管理

ペット飼育スペースは原則、人の居住スペースと分けて運用され、同室で過ごすことはできません。飼い主は他の避難者にも配慮することを心掛け、ペットに関するトラブルが起きないように飼育管理ルールを守って飼育しましょう。事故やトラブルが起きた場合は当事者同士で解決しましょう。

避難所での飼育管理ルールの一例

- ◆ペットは決められた飼育スペースでケージに入れるなどして飼育すること
- ◆ペットのケージ等には飼い主の名前、連絡先等の札を貼り付けること
- ◆ペットの飼育に必要な作業は飼い主同士で協力して飼育すること
- ◆ペットの飼育に必要な資材（食器、ケージ）と餌などは原則飼い主がそれぞれ準備すること
- ◆ペット飼育スペース及び周辺の排泄物、ペットの毛の後始末は必ず飼い主が行い清潔に保つこと
- ◆ペットに関する苦情・危害防止に努め、問題が発生した場合は当事者同士で解決を図ること



ペットの災害対策に関すること

動物管理センター TEL.079-281-9741

避難所運営に関すること

危機管理室 TEL.079-223-9522